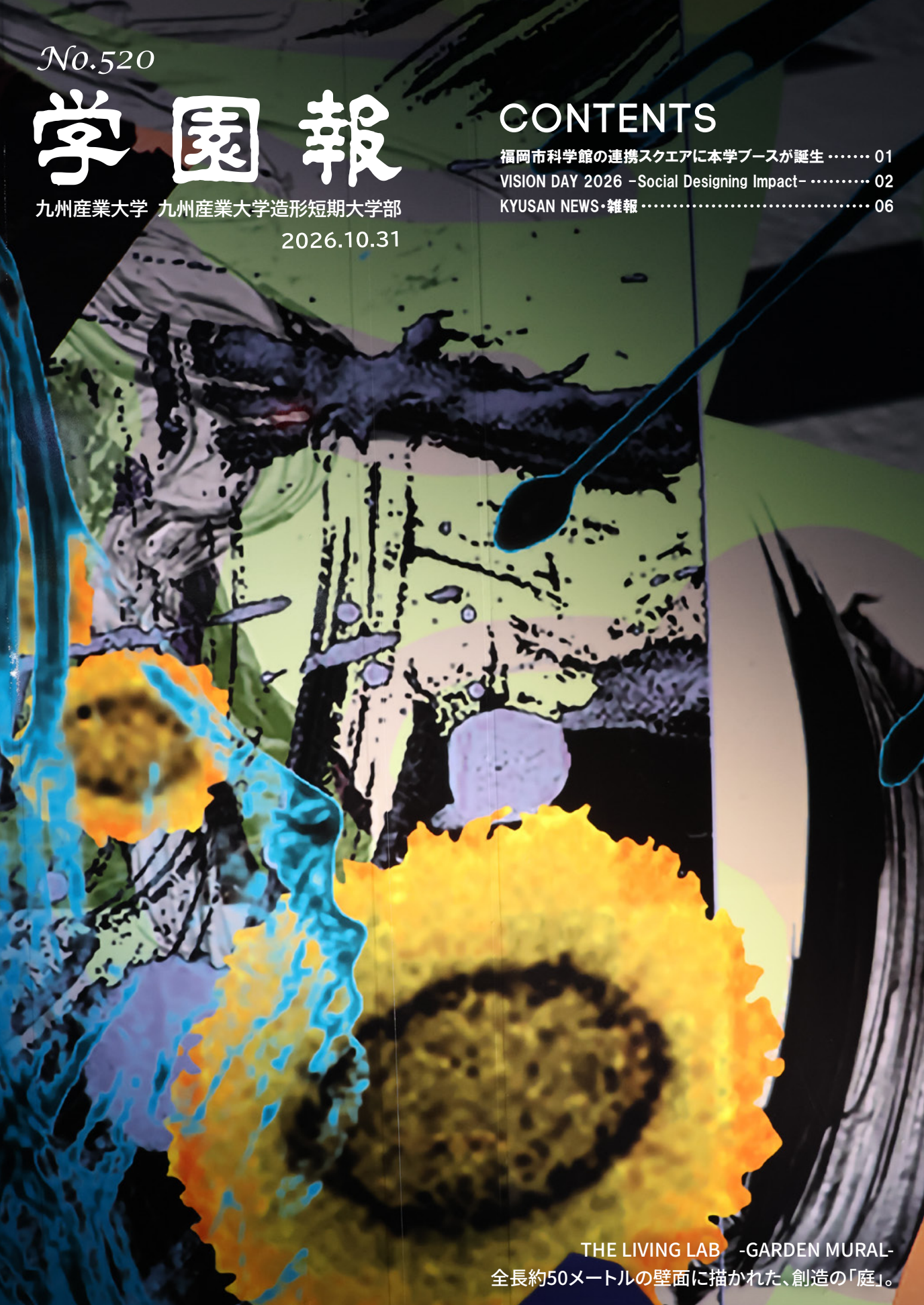
No.520

学園報

九州産業大学 九州産業大学造形短期大学部
2026.10.31

CONTENTS

福岡市科学館の連携スクエアに本学ブースが誕生 …… 01
VISION DAY 2026 -Social Designing Impact- …… 02
KYUSAN NEWS・雑報 …… 06



THE LIVING LAB -GARDEN MURAL-
全長約50メートルの壁面に描かれた、創造の「庭」。

中期計画（2021-2030）
～新たなブランドイメージの構築に向けて～

ブランディング プロジェクト 進行中！

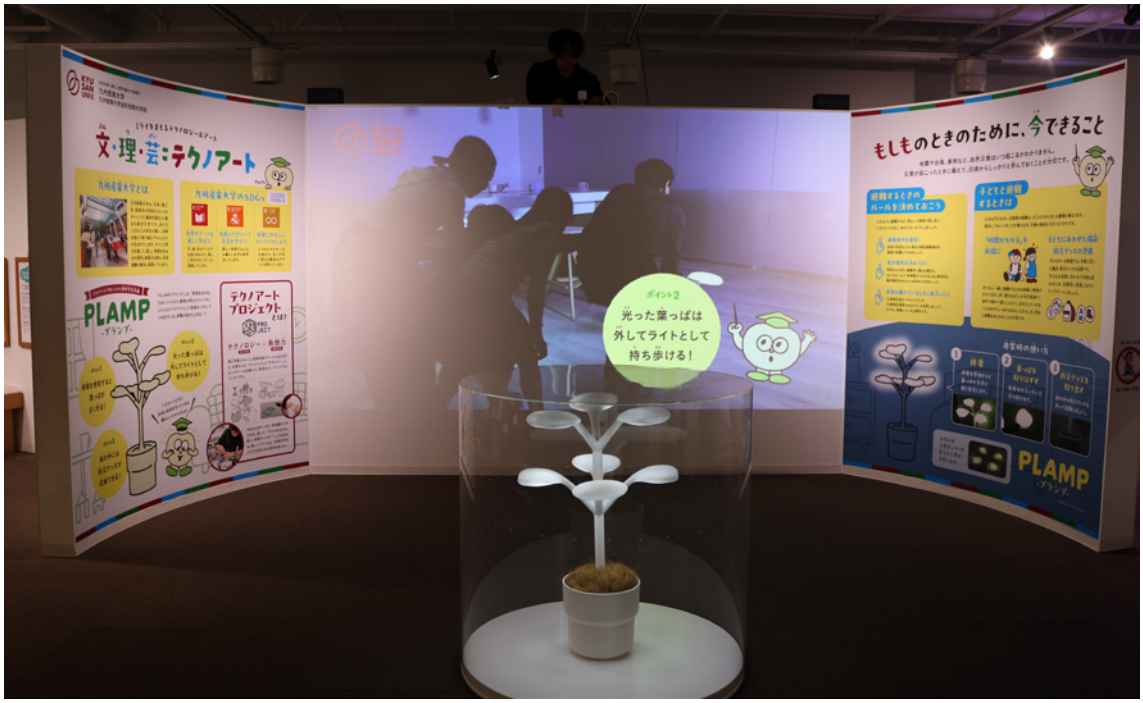
福岡市科学館に本学の常設展示ブースを開設

2026 年 10 月から、福岡市科学館 3 階「連携スクエア」に本学の常設展示ブースを開設しました。年間約９１万人が来館する同館において、本学の教育・研究活動を継続的に発信するブランド発信拠点として活用していきます。

初回展示では、本学のプロジェクト型教育の中から「テクノアートプロジェクト」をテーマに、理工学部の技術と芸術学部のデザインを融合し生み出した成果を紹介し、本学ならではの教育の価値を発信しています。

また、ブース内では「テクノアートプロジェクト」の紹介映像のほか、ブランドムービーなども上映。学生の学びや成長のプロセス、教育理念や特色を来館者に分かりやすく魅力的に伝えます。

今後は、展示による情報発信に加え、プロジェクト型教育の成果を活用したワークショップなども実施予定です。小中学生や保護者層をはじめとする同館の利用者との接点を広げながら、本学の教育・研究活動を体感できるブランド発信拠点として展開してまいります。



文×理×芸×展

VISION DAY 2026

～ Social Designing Impact ～

2026

10.30金 11:00→17:30

10.31土 10:00→16:00

九州産業大学
大楠アリーナ 2020

入場無料

後援　一般社団法人 九州経済連合会

KYU SAN UNIV.
次代を描く感性、世界を動かす実践力
九州産業大学
九州産業大学造形短期大学部

特設サイト



撮影：白鳥真太郎

水戸岡鋭治氏による基調講演

「デザインは公共のために」

日　時｜2026年10月31日(土) 10:00～11:30
会　場｜大楠アリーナ2020
　　2F VISION DAY 2026 特設ステージ
講 演 者｜デザイナー　水戸岡 鋭治 氏
主な経歴｜1947年岡山県生まれ。岡山県立岡山工業高校デザイン科を卒業後、サンデザイン（大阪）、STUDIO SILVIO COPPOLA（イタリア・ミラノ）を経て、1972年、東京にドーンデザイン研究所設立。
JR九州の「九州新幹線800系〈つばめ〉」「ななつ星in九州」をはじめとする車両、駅舎などを多数デザインし、多くの賞を受賞している。現在、JR九州デザイン顧問、両備グループデザイン顧問。

本講演は事前来場登録が必要です。裏面のQRコードにてお申し込みください。

特設ステージでは、その他セミナーをはじめ、研究事例を紹介するショートプレゼン、異なる分野の研究者によるトークセッションなど多彩なトークイベントを開催します。

（P02 ～ 05 は、当日参加時のリーフレットとしてご活用いただけます）

研究と社会をつなぐアイデアと技術から、
未来を創る可能性を発信します。

研究シーズ（研究コラボレーションゾーン）



4 「消費費用」と家事労働の経済的貢献
：家事労働論争を再考する

5 インドネシアのパーム油関連産業の現状

6 アナログ写真にみる九州の観光
―故砂田光紀氏寄贈資料より―

7 ナノ構造制御による高機能超伝導材料の創製と物性解明

8 現代的な高齢者の学び

9 九産大が見せるローカル5Gを用いた未来

10 AI時代のデータ工学・知識工学に関する基盤研究とその応用

11 大容量光伝送用光ファイバ接続技術の研究

12 解析関数の同時特異点解消と局所ゼータ関数の解析接続

13 便利で豊かな暮らしを支える、ソフトマターデバイス



14 哺乳類の受精機構の研究

15 遺伝子工学による
多様な発色タンパク質の創製

16 昔ながらの九州豚骨ラーメン
「くさウマ」スープは発酵食品！

17 食品向けダイズ品種の食味成分の違いを深堀りする

18 水道管凍結対策に関する知識と実施の関係

19 VR映像制作を通じた教育と社会連携モデルの構築

20 トリニティ・エデュケーション
～子ども・親・先生みんなが主役となる
新たな学びの場の創造～



21 香りで見えるコンディション

22 乳幼児の世界を体験してみよう！
体験型学習を通した子ども理解

23 覚醒と注意能力を高める閾下照明技術の開発／
脳波による個人識別・心理気質の評価

24 研究装置を主軸に据えた成果事例と総合機器センターの紹介

25 乳児期のふれあい遊びを活用した親子支援モデルの構築に向けて

26 産業経営研究所・共同研究プロジェクトの成果紹介

27 子どもの運動神経は低下傾向にあるのか？
～日独・国際比較研究～

28 アート＆デザイン研究センターの活動紹介

VISION発信

1 九州産業大学が目指すビジョンと大学改革の
取り組みを紹介します。

特色ある教育の取り組み

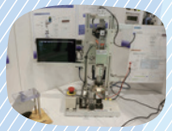
57～66 各学部の特色ある教育の取り組みを通じて、
学生の成長を支える学びの可能性を発信します。

研究成果と社会課題を結びつけ、
産学連携による共創の可能性を発信します。

研究シーズ（産学連携マッチングゾーン）

29 門司鉄道局『局報』のデジタルアーカイブ化と共同研究の展開

30 Qサバへのトレーサビリティシステム導入



31 半導体教育向け実習装置開発

32 カーボンニュートラルの世界

33 パルスパワー発生技術とその応用

34 Nature Positiveの実現に向けた既存空間の活用

35 地域貢献実践スタジオ・産学連携研究と教育

36 Bee Hotel Design Project

37 [Go-Pera] ― 言語的自己効力感とAIフィードバック

38 しごとの場・住まい・まちを再生する
― 3社との産学連携による
再生デザインプロジェクト ―



産学官金連携によって生まれた成果事例を通じて、
社会課題の解決と新たな価値創造の可能性を発信します。

産学官金連携事例



39 AIキャリア共創実証2026

40 水道局で働く魅力を伝える
―福岡市水道局×九産大―

41 Physical AIによる異常検出プラットフォームの開発

42 木製巻き上げ式扉の挙動感覚改善に関する研究

43 山人参葉を利用したブレンド茶の開発

44 健康的で快適な居住環境デザインのこたえあわせ

45 太陽光パネルガラスを活用したリサイクルプロダクトの開発



46 モビリティーデザインへの取り組み

47 共感からはじまるデザイン開発



48 ないものづくりグランプリのご紹介

49 福岡県×九産大オリジナル「ふくおかるた」

アドバンストプログラム

56 意欲ある学生の挑戦を支えるアドバンストプログラムの取り組みを通じて、未来を切り拓く人材育成の可能性を発信します。

学部・学科の枠を超え、企業や自治体など
多様な主体と連携・協働して取り組む
プロジェクト型教育を通じて、実践的な学びと成長の可能性を発信します。



プロジェクト型教育

74 ベトナム向け筑後うどん新メニュー開発プロジェクト

75 草野町の香りを届ける
― ハーブとアロマでつながる地域創生 ―

76 あめにわかがりプロジェクト

77 グラフィックアートプロジェクト（芸術学部×版画学会）

78 八女福島燈籠人形の文化継承と伝達



79 百の歌、百の想い

80 文理芸融合・古典×モノづくり
プロジェクト

81 グローカルキャリアプログラム
九州と世界のつながりを考える

82 KSUイルミネーションプロジェクト

83 食品開発研究会

84 家具からはじまる空き家再生
―福智町×家具空間デザインスタジオ―



85 建築設計競技

86 OMAMORI PROJECT
（志賀島お守りプロジェクト）

87 対話が変える「働く」の見方
―キャリア・マイルストーン・プログラムの実践―

50 ICTを活用した地域公共交通運行管理支援

51 障害者の意思伝達、介護用リフト他、
超高齢社会における支援技術

52 企業の健康経営を支援する「AI博物館浴®」
モデル研究開発の取り組み



53 須恵町連携デザイン制作案件

54 スクーミー×スポーツ「測れるか？創れるか？見えるか？」

55 「保育士としてはたらく。」を考える

大学院研究成果

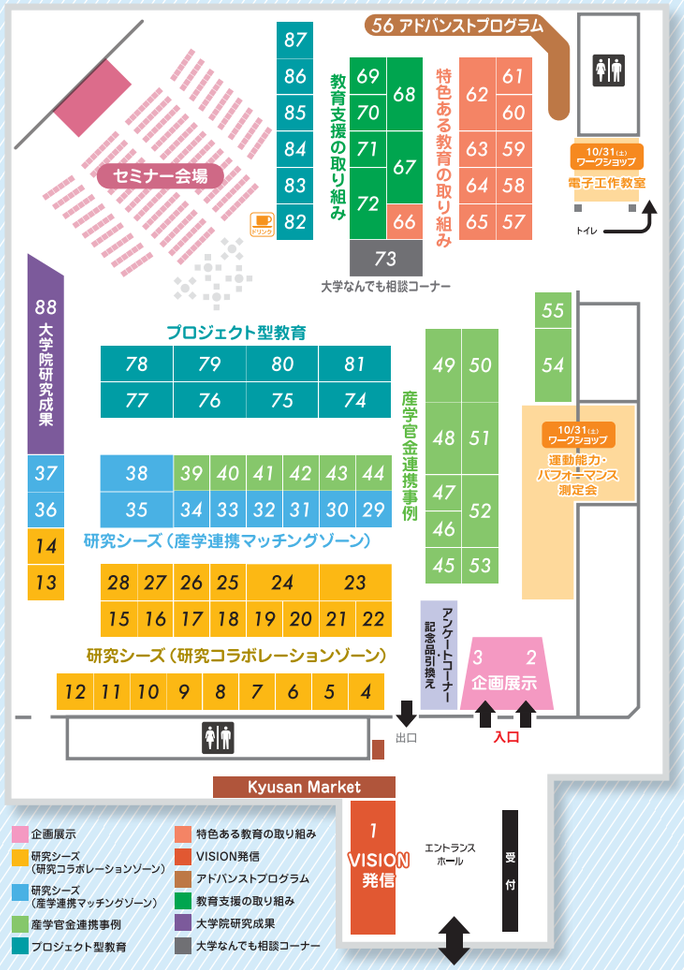
88 文系・理工系・芸術系の大学院生による多様な研究成果を通じて、高度な専門性と学際的な研究の可能性を発信します。



大学なんでも相談コーナー

73 教育・研究・産学連携・入試など、本学に関するさまざまなご相談を承ります。

会場MAP



Kyusan Market

新ブランドマークを使用したオリジナルグッズや、
COLLEGE MARKETで展開するアイテムを販売します。

教育支援の取り組み

学生一人ひとりの
可能性を広げる教育支援の
取り組みを通じて、
豊かな成長を支える
学びの環境を発信します。



67 グローバル推進本部の取り組み

68 文字のない絵本

69 Let's enjoy foreign languages!

70 学生ボランティア活動を通じた地域課題へのコミットメント

71 キャンパスの “居場所” をデザインする

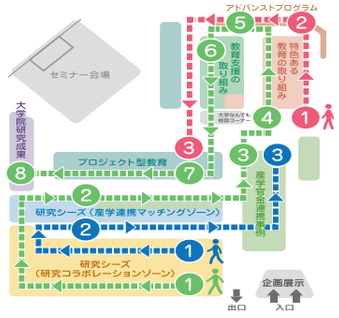
72 多様性と共生を実現するインクルーシブキャンパスへの取り組み

モデルコース

企業の方向け 産学連携コース
1 研究シーズ（コラボ） → 2 研究シーズ（マッチング） → 3 産学官金連携事例

中高生・教育機関関係者向け 教育情報コース
1 特色ある教育の取り組み → 2 アドバンストプログラム → 3 プロジェクト型教育

すべての来場者向け 九産大教育・研究まるわかりコース
1 研究シーズ（コラボ） → 2 研究シーズ（マッチング） → 3 産学官金連携事例 → 4 特色ある教育の取り組み → 5 アドバンストプログラム → 6 教育支援の取り組み → 7 プロジェクト型教育 → 8 大学院研究成果



本年度のテーマである Social Designing Impact」に
関連した取り組みを紹介します。

企画展示

2 フルボ酸で実現する持続可能な
農業・水産業と地域活性

3 冷媒が変える
空調と地球の未来





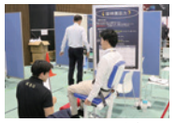
10/31(土) ワークショップ

11:30～15:00

予約不要

本学の教育研究や取り組みが体感できる
ワークショップを開催します。

運動能力・パフォーマンス測定会



※対象：一般

電子工作教室



※対象：小学生～

講演・セミナープログラム

10/30（金） 11:00 - 17:30

テーマ	時間	講演者	内容
オープニング	11:00〜11:10	VISION DAYの楽しみ方がわかる！ MCが見どころや注目ブース、セミナープログラムを紹介します。	
教員トークセッション	11:30〜12:00	商学部 山下淳司 教授 × 経済学部 平田実 教授	「地域から未来を創る」 起業家教育のスペシャリスト×イノベーション研究の第一人者が登壇。 これからの社会と未来の働き方を考えます。
	12:10〜12:40	生命科学部 高杉美佳子 教授 × 人間科学部 長島未央子 准教授	「食に係る多角的アプローチ」 食品機能科学の研究者×スポーツ栄養学の研究者が登壇。 「食」と「身体」の関係性について語り合います。
	12:50〜13:20	理工学部 赤坂亮 教授 × 芸術学部 清水稔 教授	「未来をつくる人に必要な力」 世界で活躍する研究者×世界に製品を届けてきたデザイナーが登壇。 未来をつくるのは、知識？アイデア？それとも―。
実用化支援研究プロジェクト成果報告	14:00〜14:25	理工学部 末吉哲郎 准教授	磁場方向を問わない高機能高温超伝導材料の創製
	14:25〜14:50	理工学部 鶴田和寛 教授	人工知能アプリケーションの実用化および超脳力デバイスの開発
産業経営研究所研究成果報告	15:00〜15:10	経済学部 中原裕美子 教授	現代アジアにおける国際労働力移動に関する学際的研究
	15:10〜15:20	商学部 土井一生 教授	地域企業と事業変革
	15:20〜15:30	造形短期大学部 森下慎也 准教授 基礎教育センター 田中真理 准教授	萬葉集から紐解く宗像・志賀島を結ぶ神社の研究及び次世代型御守りデザインの提案
	15:30〜15:40	経済学部 黒木宏一 准教授 経済学部 外園智史 准教授	産地組合並びに作家の作陶に対する意識の分析
	15:40〜15:50	造形短期大学部 石﨑幸 准教授	IoT/CPS社会に対応した教育環境の構築と学習基盤強化
研究シーズショートプレゼン	16:10〜16:20	芸術学部 橋詰知輝 助手	地域における「生活写真」デジタルアーカイブの実践的展開 ー滋賀県長浜市における民間団体での活動事例ー
	16:20〜16:30	地域共創学部 山下永子 教授	自治体アンケート調査の現在とこれから
	16:30〜16:40	建築都市工学部 山下三平 教授	庭づくりと温暖化豪雨対策:スマート・アダプテーション
	16:40〜16:50	基礎教育センター 吉原弘道 教授	毛利博物館所蔵の黒漆塗箱「刀剣目利之書」に収納された刀剣書 ー本阿弥光徳の「刀絵図」・「銘尽」をめぐってー

10/31（土） 10:00 - 16:00

テーマ	時間	講演者	内容
基調講演	10:00〜11:30	デザイナー 水戸岡鋭治 氏	デザインは公共のために
実用化支援研究プロジェクト成果報告	15:00〜15:25	理工学部 稲永健太郎 教授	デマンド運行管理機能を備えた地域公共交通向け統合運行管理支援システムの実用化
	15:25〜15:50	生命科学部 中山素一 教授	MALDI-TOF MS による微生物迅速識別法の食品産業・臨床分野への展開とマイコトキシンのリスク評価のプラットフォームの構築

VISION DAYにご参加いただき、誠にありがとうございます。
皆様の貴重なご意見をお聞かせいただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

回答フォーム







九産大×UNDER ARMOUR オリジナルアイテム発売スタート!

今回、秋冬アイテムとしてスポーツブランドUNDER ARMOURとコラボしたフルジップジャケットやサックパック、ボディバッグなど新たに7アイテムが登場!セットアップとして着用可能なアイテムもあり、肌寒い季節を心地よく過ごせます。
同サイト内写真は、芸術学部写真・映像メディア学科百瀬俊哉研究室の学生が撮影を行い、経済学部と生命科学部の学生2名がモデルを務めました。
本取り組みを通じて、在学生や卒業生、地域の皆さまが本学を身近に感じられる機会づくりを目指しています。



学内受け取り 送料無料

学内販売・KSC申込用ECサイト「KSC_Shop」ご利用で

全品10%OFF

※1号館2階売店と8号館1売店でも注文受付中です

※支払い・受け取り方法については、サイト内をご確認下さい

＼ 購入はこちら ／

KSC_Shop

秋冬アイテムは11月上旬より販売開始予定!

9月のキャンパス電気使用量
1,088,965Wh(前年同月比約 13.37%減)

9月のキャンパスの燃えるゴミの量
8,130kg(前年同月比約 11.44%減)

少しずつ風が冷たくなり、秋らしくなってきましたね。
換気をこまめにして体調には気をつけましょう!

KYUSAN PHOTOGRAPHY

BEST★SHOT





正門エリアリニューアルのあゆみ Vol.1
2026年10月現在

#正門エリア　#キャンパス整備事業　#基礎工事　#鉄骨工事　#階段整備

学園報 No.520 / 2026.10.31

発行 総合企画部広報課
印刷 有限会社 福岡中部印刷

KYU SAN UNIV.